

年金業務・社会保険庁監視等委員会(第8回)議事要旨

1. 日時 平成20年2月26日(金) 14:00~15:30
2. 場所 中央合同庁舎第5号館16階委員会室
3. 出席者
(委員会) 葛西委員長 大宅委員長代理 磯村委員 岩瀬委員 住田委員 村岡委員
(総務省) 村木行政管理局長 田部事務室長 横田主任調査員ほか
(厚生労働省) 宮島総括審議官 黒川政策統括官付社会保障カード推進室長
(社会保険庁) 坂野長官 中野社会保険業務センター所長 北村統括管理官 鈴木運営部企画課長 松岡運営部医療保険課長
4. 議事次第
 - (1) 厚生労働省・社会保険庁からのヒアリング
 - (2) その他
5. 会議経過
 - 社会保険庁から、工程表に基づく作業の進捗状況等について、以下の内容を中心とした説明があり、これに対して質疑応答が行われた。
 - ・ 5000万件の名寄せ結果による特別便の回答状況は、2月12日現在で発送128万人、うち回答が60万人、回答のうち「訂正あり」が13万人との説明があり、これに対し、「訂正あり」、「訂正なし」それぞれの内容確認が重要であるとの意見があった。
 - ・ 4月以降の全ての受給者、現役加入者への特別便の送付について、その様式等の説明があり、これに対し、記録の確認や相談が膨大な数になると思われるため、市町村の協力を得るなど対応に万全を期すべきとの意見があった。
 - ・ 1430万件、36万件の転記作業における外国籍の派遣労働者問題への対応状況等について説明があり、これに対し、社会保険庁のチェック体制をきちんとすべきとの意見があった。
 - ・ このほか、「社会保障カード(仮称)の基本的な構想に関する報告書」などについて説明があった。
 - 次回の委員会は、3月19日(水)14時から開催予定。

[文責 総務省(事務室)]